



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月29日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 3140 URL http://idea-in.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 正人
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営情報部長 (氏名)松原 元成 (TEL) 03-5446-9505
 四半期報告書提出予定日 2020年5月29日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	11,241	△0.8	217	△43.9	10	△95.1	△76	-
2019年6月期第3四半期	11,330	-	386	-	214	-	45	-

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △55百万円 (-%) 2019年6月期第3四半期 51百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	△5.30	-
2019年6月期第3四半期	3.20	-

(注) 当社は、2018年6月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	8,662	4,042	46.7
2019年6月期	8,531	4,155	48.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 4,042百万円 2019年6月期 4,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	-	0.00	-	4.00	4.00
2020年6月期	-	0.00	-	-	-
2020年6月期(予想)	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	4.9	650	3.3	450	1.3	250	48.1	17.43

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 新型コロナウイルス感染症の影響については現在精査中であり、上記の実績予想に盛り込んでおりません。
 業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年6月期3Q	14,717,350株	2019年6月期	14,717,350株
2020年6月期3Q	374,715株	2019年6月期	374,715株
2020年6月期3Q	14,342,635株	2019年6月期3Q	14,342,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2020年6月1日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年6月期第3四半期連結累計期間(2019年7月1日～2020年3月31日)におきましては、中国に端を発した新型コロナウイルス感染拡大により、わが国でも主に接客が必要な小売業、飲食業などが大きな打撃を受けました。

当社でも、海外売上上の大部分を占める中国からの注文が減少、また商業施設の臨時休館や営業時間短縮などの影響を受け、店舗を有する得意先への卸売売上や当社直営店舗の売上が減少いたしました。しかしながら外出自粛や在宅ワーク推進等により世界的にネット通販の売上が拡大する中、当社でもネット通販を有する得意先への卸売売上および当社Eコマースの売上が大きく伸びることができました。これは卸販売、直営店販売、Eコマース販売と3つの販路をバランスよく展開する当社のリスク分散戦略が功を奏したことによります。

キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」につきましては、中国での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、1月から2月にかけて、中国の生産委託工場が閉鎖し、新商品の入荷が遅れるなどの影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策での臨時休校や外出自粛などによる、家庭で楽しく調理できる家電の需要が高まり、当社の主力商品であるコンパクトホットプレートはテレビ番組等多くのメディアで取り上げられ、マルチスティックブレンダーなどのキッチン家電が好調に推移しました。また冬物家電「マルチふとんドライヤー」も前年売上を大きく上回るなど、売上高は前年同期比112%となりました。

トラベル商品ブランド「ミレスト」につきましては、フランスのブランド「PAPIER TIGRE」とコラボしたバッグやトラベル雑貨の販売が好調なもの、新型コロナウイルスの感染拡大により旅行需要が急激に落ち込んだことなどが影響し前年同期比93%となりました。また、子会社の株式会社シカタも新型コロナウイルス感染拡大が生産、販売に影響し前年売上を下回りました。結果として当第3四半期連結累計期間の全社の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの11,241百万円となりました。

利益につきましては、「ブルーノ」をはじめ利益率の高い自社商品ブランドの売上が対前年比108%と拡大したこと、また利益率の高いEコマース売上が対前年比140%と拡大したことから営業利益は217百万円となった一方、株主関連費用の増加などにより経常利益は10百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、一部店舗及び老朽化した埼玉化粧品工場について特別損失を計上したことにより76百万円の損失となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、新商品の入荷遅延や店舗を有する得意先への売上が減少するなどいたしました。しかしながら、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が、主力商品のコンパクトホットプレートや季節家電等で売上を牽引し、また、ネット通販の得意先の売上が大きく伸びたことから、売上高は6,736百万円、営業利益は916百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界的にネット通販の売上が拡大する中、当社Eコマースの売上は大きく伸長し、前年同期比140%となりました。しかしながら、直営店舗においては、商業施設の臨時休館、営業時間短縮を余儀なくされた影響で売上を大きく落とし、その結果売上高は4,485百万円、営業利益は127百万円となりました。

デザイン事業においては、売上高19百万円、営業利益は19百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、8,662百万円(前連結会計年度末は8,531百万円)となり、130百万円増加しました。

流動資産は、6,608百万円(前連結会計年度末は6,410百万円)となり、197百万円増加しました。これは現金及び預金の増加(1,000百万円)等があったものの、受取手形及び売掛金の減少(48百万円)及び商品及び製品の減少(761百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、2,051百万円(前連結会計年度末は2,112百万円)となり、60百万円減少しました。これは有形固定資産の増加(38百万円)があったものの、無形固定資産の減少(44百万円)等があったことによるものであります。

繰延資産は、2百万円(前連結会計年度末は9百万円)となり、6百万円減少しました。これは株式交付費の減少(6百万円)によるものであります。

流動負債は、3,330百万円(前連結会計年度末は2,822百万円)となり、508百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金の増加(80百万円)、短期借入金の増加(576百万円)があったことによるものであります。

固定負債は、1,289百万円(前連結会計年度末は1,554百万円)となり、264百万円減少しました。これは長期借入金の減少(238百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、4,042百万円(前連結会計年度末は4,155百万円)となり、112百万円減少しました。これは利益剰余金の減少(133百万円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月8日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785	1,786
受取手形及び売掛金	1,755	1,706
商品及び製品	2,819	2,058
その他	1,057	1,062
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	6,410	6,608
固定資産		
有形固定資産	756	794
無形固定資産		
のれん	628	574
その他	90	99
無形固定資産合計	718	674
投資その他の資産	636	582
固定資産合計	2,112	2,051
繰延資産	9	2
資産合計	8,531	8,662
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901	982
短期借入金	582	1,158
1年内返済予定の長期借入金	589	553
引当金	89	41
その他	659	593
流動負債合計	2,822	3,330
固定負債		
長期借入金	1,289	1,051
退職給付に係る負債	179	165
引当金	18	20
その他	65	51
固定負債合計	1,554	1,289
負債合計	4,376	4,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	917	783
自己株式	△82	△82
株主資本合計	4,162	4,029
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△5	14
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	△7	13
純資産合計	4,155	4,042
負債純資産合計	8,531	8,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	11,330	11,241
売上原価	6,910	6,708
売上総利益	4,419	4,533
返品調整引当金戻入額	17	13
返品調整引当金繰入額	15	8
差引売上総利益	4,421	4,538
販売費及び一般管理費	4,035	4,320
営業利益	386	217
営業外収益		
為替差益	19	0
その他	4	6
営業外収益合計	24	7
営業外費用		
株主関連費用	124	153
その他	70	60
営業外費用合計	195	214
経常利益	214	10
特別損失		
減損損失	56	4
固定資産除却損	-	6
工場閉鎖損失	-	14
その他	10	0
特別損失合計	66	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	147	△13
法人税、住民税及び事業税	77	28
法人税等調整額	24	33
法人税等合計	101	62
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	45	△76

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45	△76
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	5	19
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	5	20
四半期包括利益	51	△55
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51	△55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。